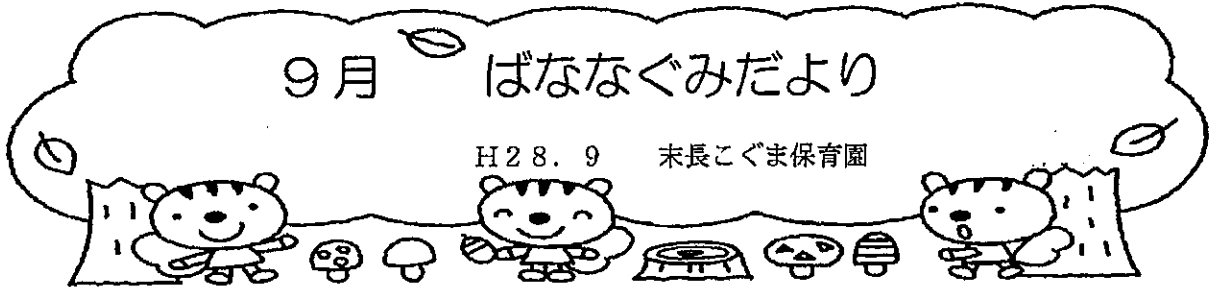


9月 ばななぐみだより

H28. 9 末長こぐま保育園



それぞれお休みが終わり、いつものばなな組が戻ってきました。久しぶりに会う子どもたちは、お話しが上手になっていたりお兄さん、お姉さんの顔になっていたりとその子なりの成長が見られ、改めて新鮮な気持ちになりました。

最近では、洋服を自分で脱いだり、脱いだ服や食後のエプロンを自分達でカゴにしまったり、また、保育士に頼まれると嬉しそうにお手伝いをしてくれる場面も増えてきました。毎日、一人ひとりの成長に喜びを感じずにはいられません。

「ねえちゃん、

ど〜すればいいの？」

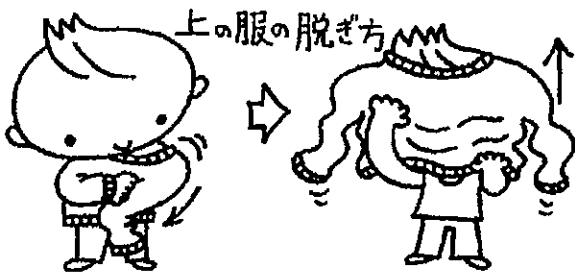
4才の姪が駄々をこねてママ（義妹）を困らせていたのでしばらく様子を見ていました。落ち着いたからの義妹の一言でした。

その時に話したことは

1. 主導権は親が持つこと
2. 買い物など行く時は、約束（今日はお菓子は買わないなど）をしてから出かけること
(言い聞かせるということです)
3. 怒るのではなく叱るということ

この3つは1歳や2歳でも同じことです。叱る事は悪い事ではありません。叱った後にしっかりと目を見てギュ〜と抱きしめてあげればいいのです。少しずつ自我が芽生え「わがまま」が目立つお年頃。悩ましい時期ですね。お子さんとの関わり方で悩んだ時は、どうぞ担任を頼ってきて下さい。私たちも通ってきた道です♪

子ども達にはこんな風に服を脱いでいます。



- ① そで口を引っ張りながら ② すそを肩まで上げて
うでの中に入れて抜く 両手で首周りを持ち上げる

子ども達に服の脱ぎ方は左の絵のような脱ぎ方をする様に声を掛けています。

お家でも保育園と同じ声掛けをして頂けると子どもも混乱せずに服が脱げるようになると思います。小さくてピッタリしていると脱ぎずらくてお子さんがかわいそうなので、丁度良いサイズを用意してあげて下さい。